

平成30年度 全国学力・学習状況調査及び佐賀県学習状況調査の結果の公表にあたって

武雄市教育委員会

武雄市は平成24年度から学校ごとに公表した学習状況調査の結果をまとめて、市のホームページで公表してきました。

今年度も保護者・地域住民の皆様に学校の現状と取組、武雄市の取組が分かっていただけるように公表を行います。

学校教育は、「知・徳・体のバランスのより高い調和」を目指しており、今回公表した学力調査結果はその一部です。また、日々成長している子どもたちの現時点での一面であり、今後の取組の資料とするものです。この結果を受け、指導方法の新たな検討、校内研修の活性化等に取り組みます。

保護者・市民のみなさまに学習状況・意識調査（家庭や地域での学習や生活状況）の結果をお知らせすることにより、武雄市の教育への関心を高め、市民総ぐるみで教育を考えていただく機会にしたいと思えます。

児童、生徒の学力の向上には学校と家庭や地域との連携が必要です。今回、学習状況・意識調査を合わせて公表することで連携体制をより強くしていきたいと思っております。

公表は、小学6年生、中学3年生は全国学力・学習状況調査、その他は、佐賀県学習状況調査の結果です。

全国学力・学習状況調査は、国語、算数（数学）共にA問題、B問題という2種類の調査で成り立っています。おおむねA問題は、「知識」に関する問題、B問題は「活用」に関する問題です。

また、今年度は、小学6年生、中学3年生において、3年に1度の理科調査（「知識」に関する問題と「活用」に関する問題を一体的に問う問題）も実施されました。

各学校のホームページには、学校ごとの分析と改善に向けた具体的な取組を掲載しておりますので、あわせてご覧ください。

実態分析と改善に向けた 具体的な取組

武雄市 小学校（11校）全体

平成30年度 全国学力・学習状況調査、佐賀県学習状況調査
結果を受けた取組について 【武雄市 小学校】

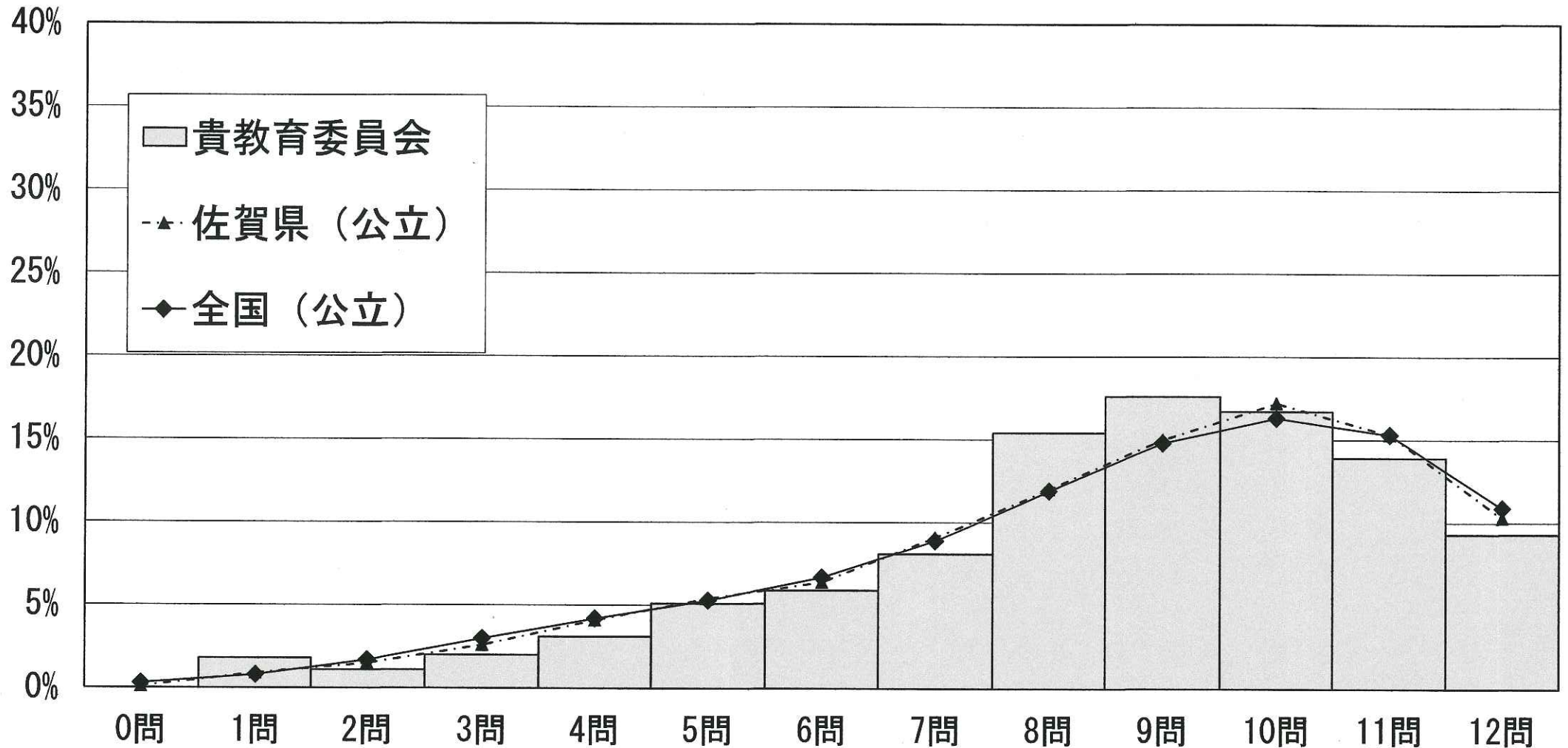
1 児童の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

	国 語			算 数			理 科
	5 年時	6 年時		5 年時	6 年時		6 年時
		A	B		A	B	
H26入学 現5年	67.4 (1.01)			70.6 (1.00)			
H25入学 現6年	60.1 (0.98)	71.0 (1.00)	54.0 (1.00)	65.8 (1.01)	63.0 (1.00)	52.0 (1.02)	62.0 (1.02)
H30正答率の全国比		(1.00)	(0.99)		(0.99)	(1.01)	(1.03)

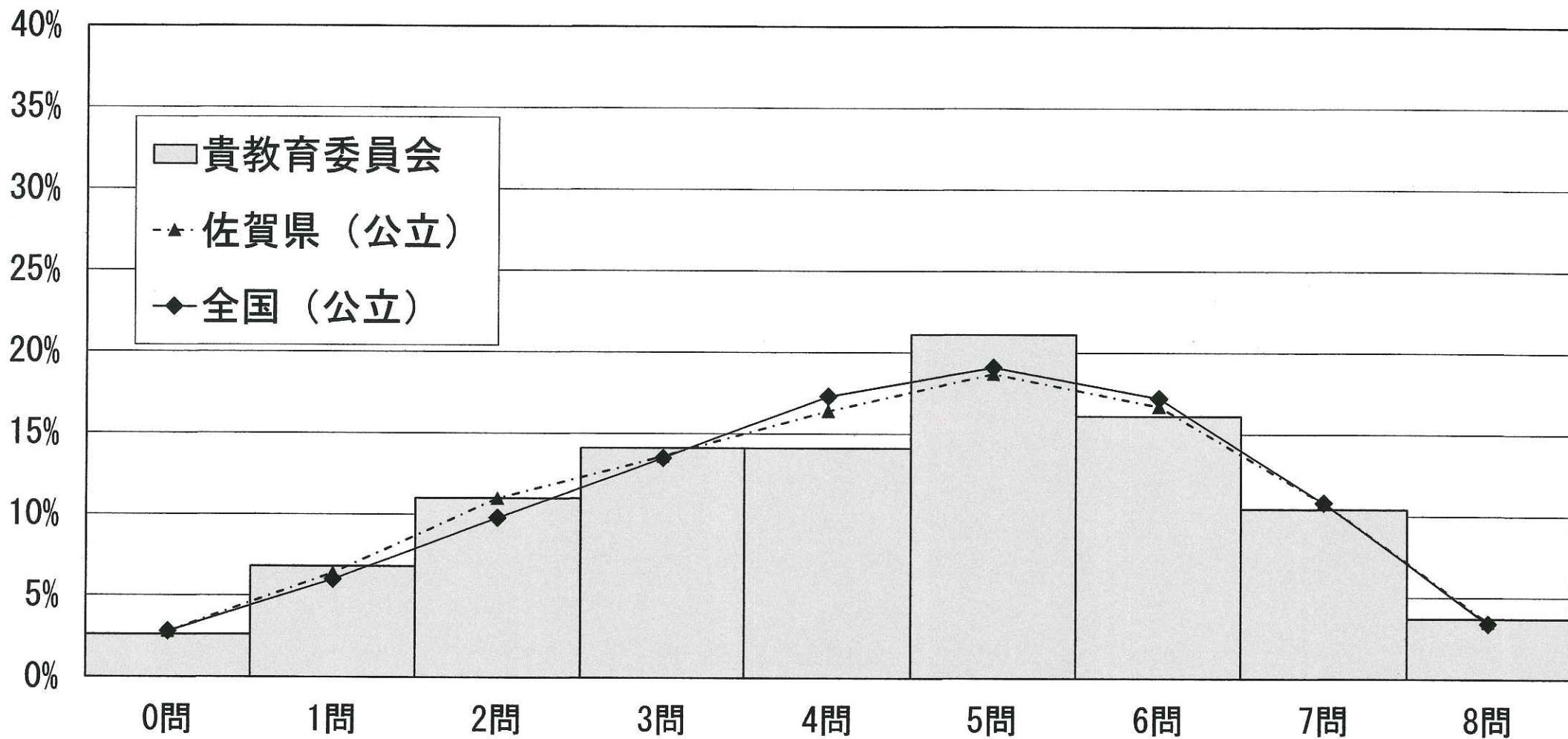
- ◎ 5年時は佐賀県学習状況調査、6年時は全国学習状況調査の推移。
- ◎ 上段は平均正答率(%)、下段()は、県平均を1としての比較。
- ◎ 「H30正答率の全国比」は、全国平均を1としての比較。

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）（小6国語A）



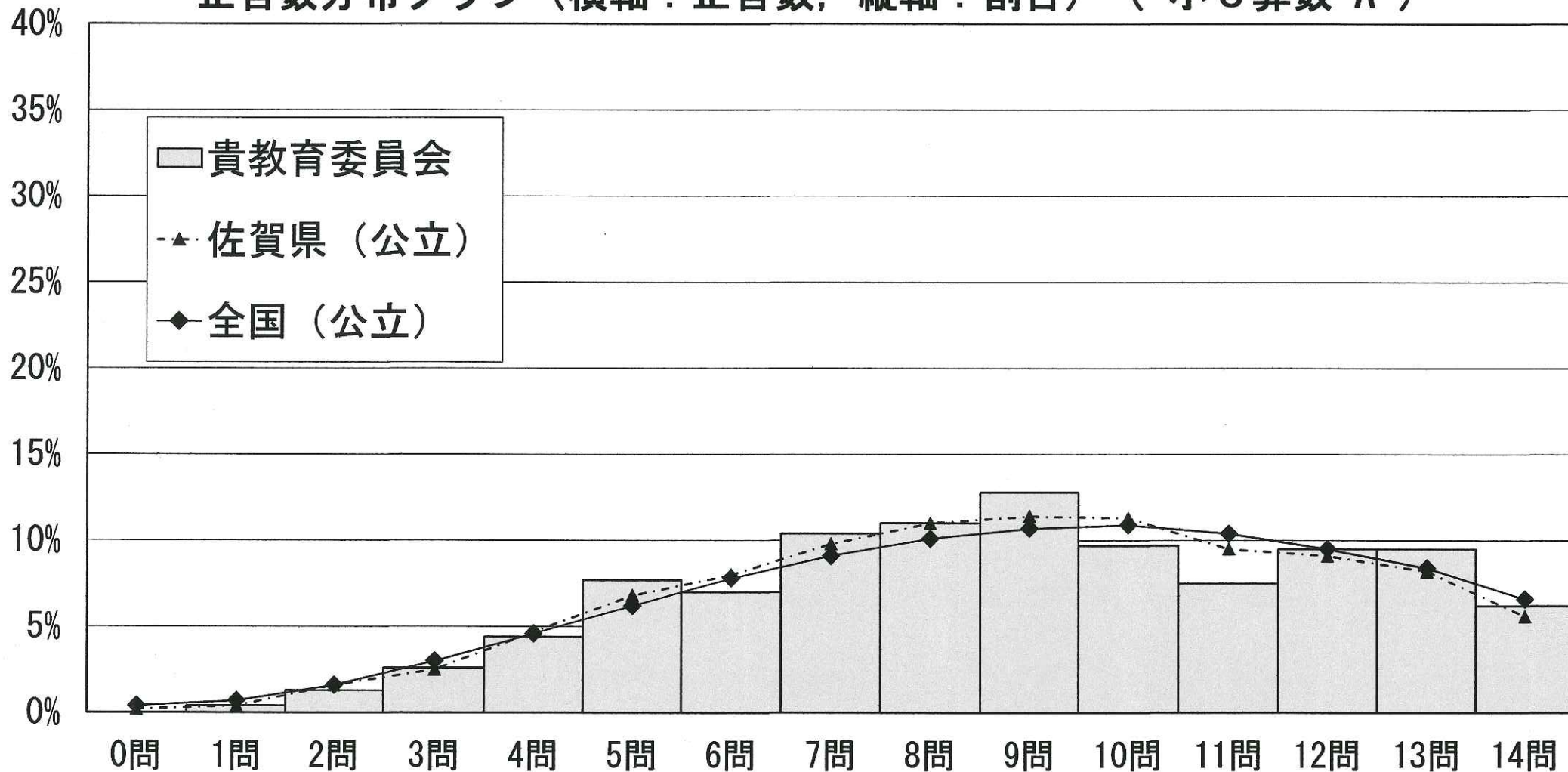
文部科学省 平成30年度全国学力・学習状況調査（小学校）結果より

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）（小6国語B）



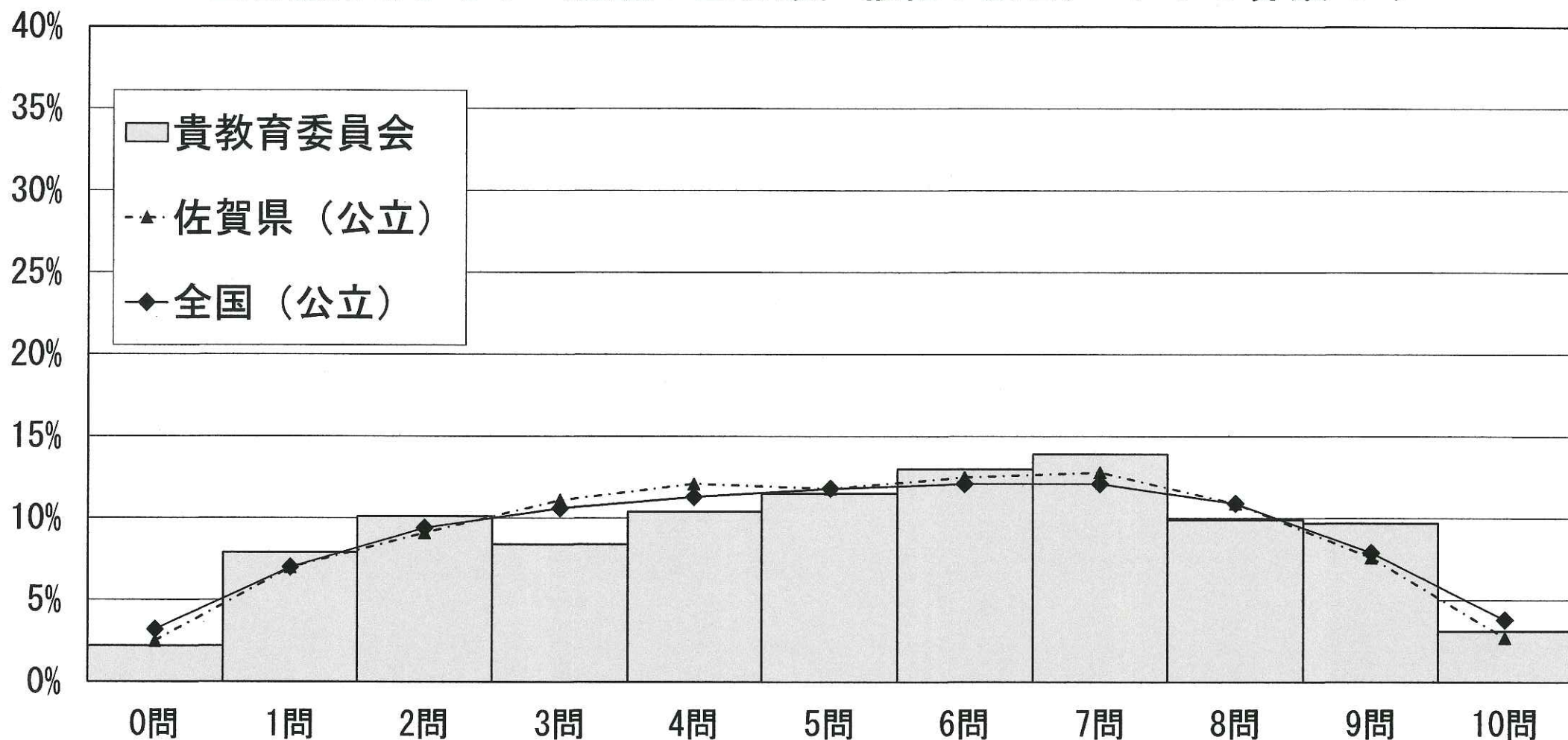
文部科学省 平成30年度全国学力・学習状況調査（小学校）結果より

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）（小6算数A）



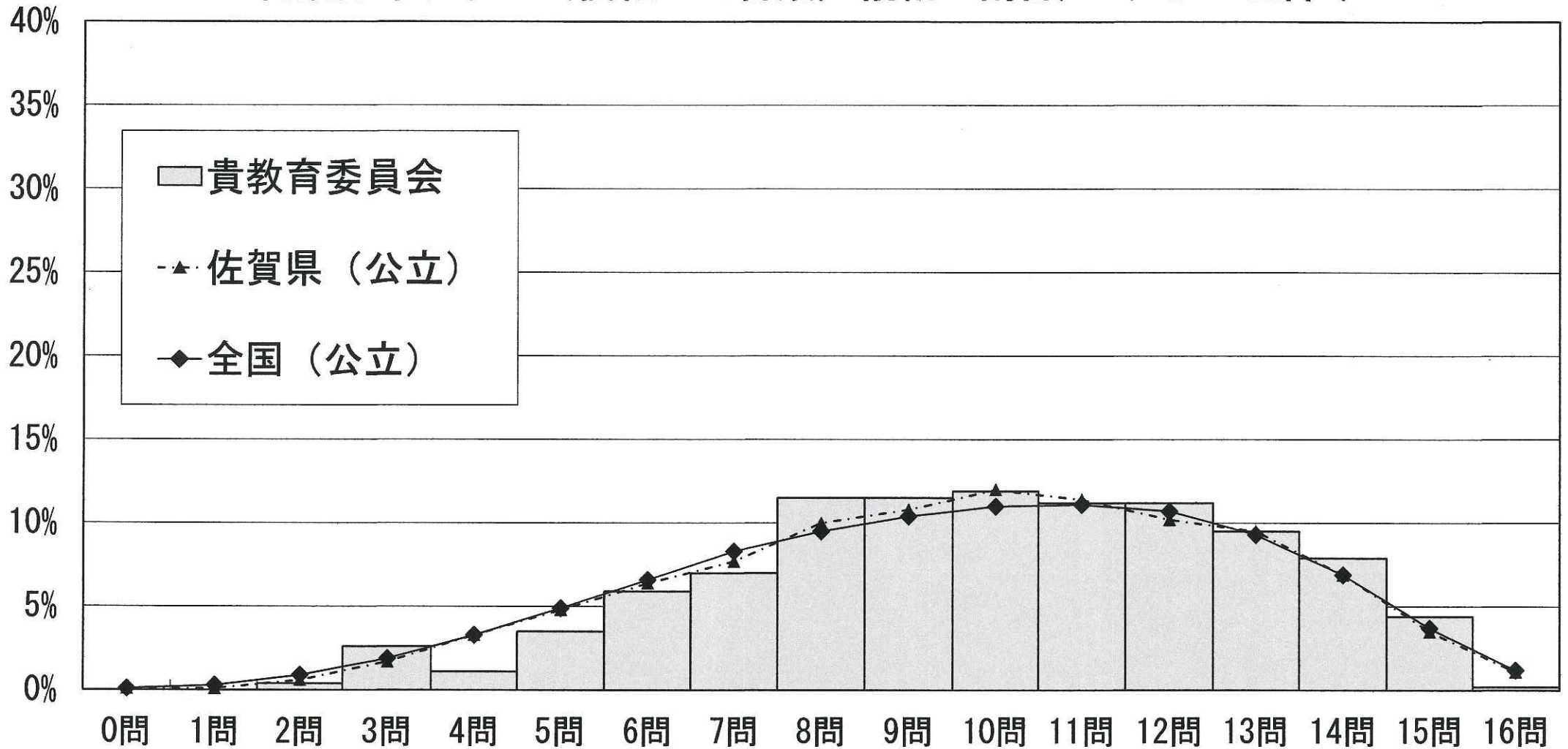
文部科学省 平成30年度全国学力・学習状況調査（小学校）結果より

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）（小6算数B）



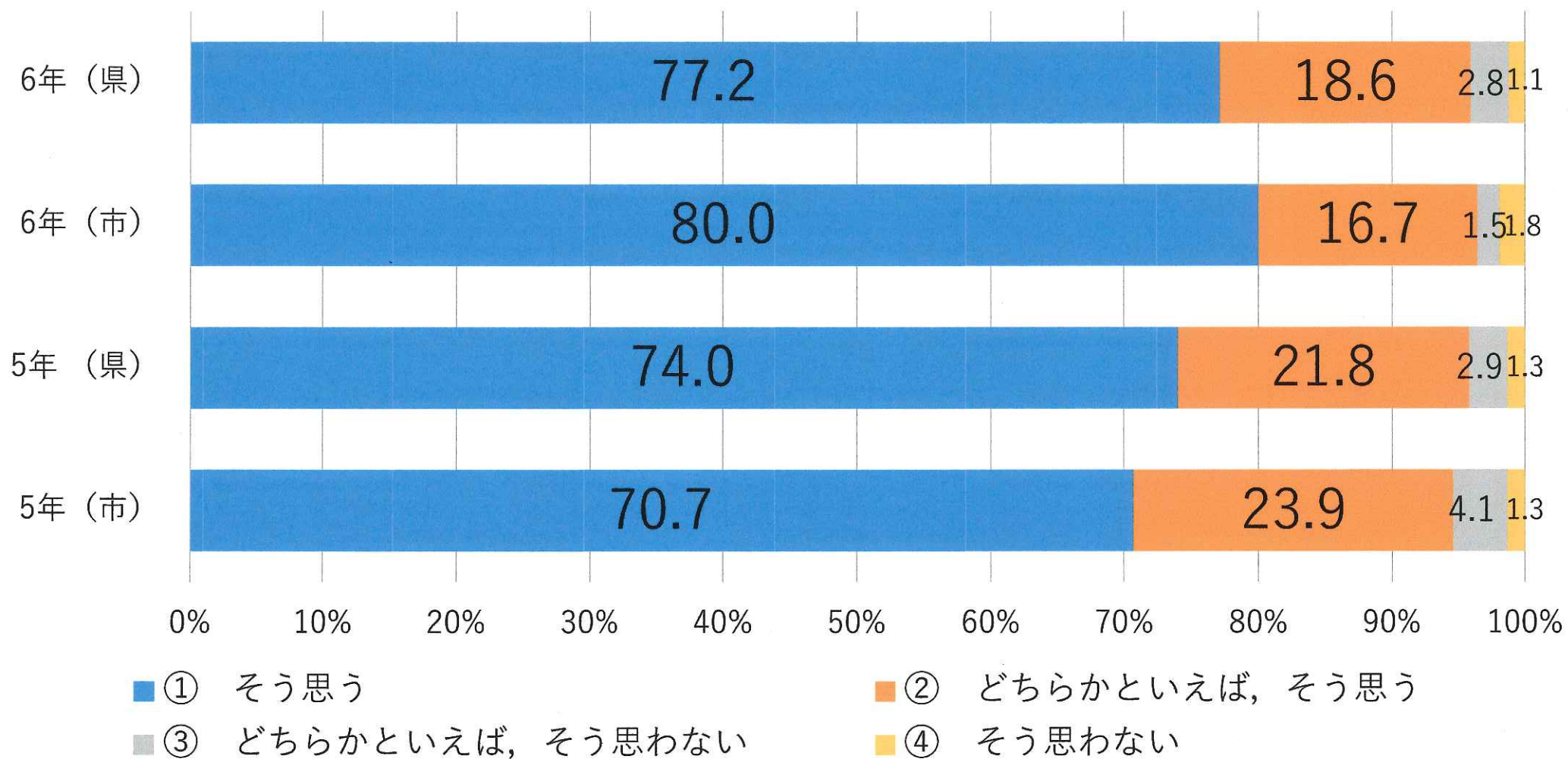
文部科学省 平成30年度全国学力・学習状況調査（小学校）結果より

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）（小6理科）

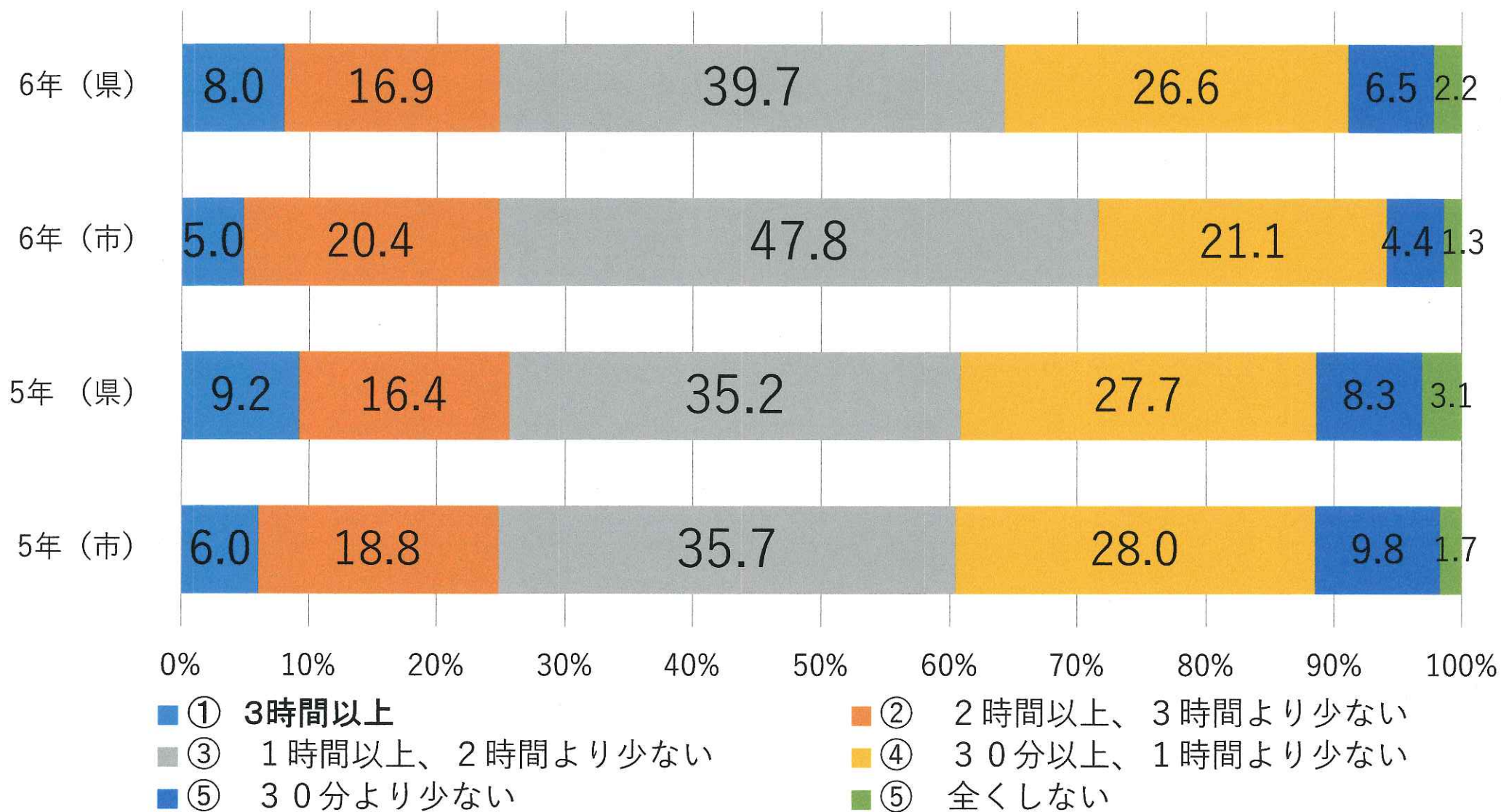


文部科学省 平成30年度全国学力・学習状況調査（小学校）結果より

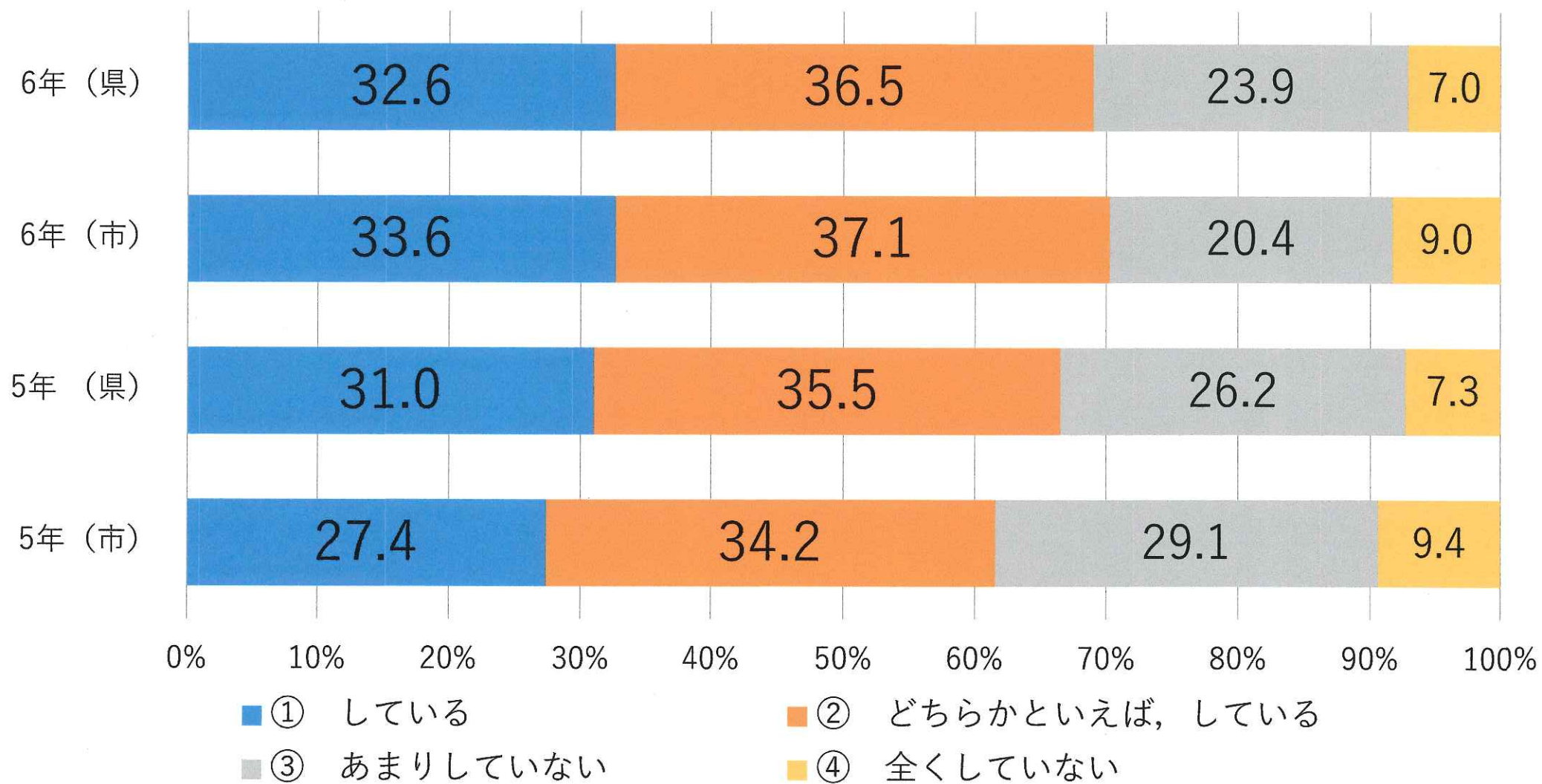
人の役に立つ人間になりたいと思う



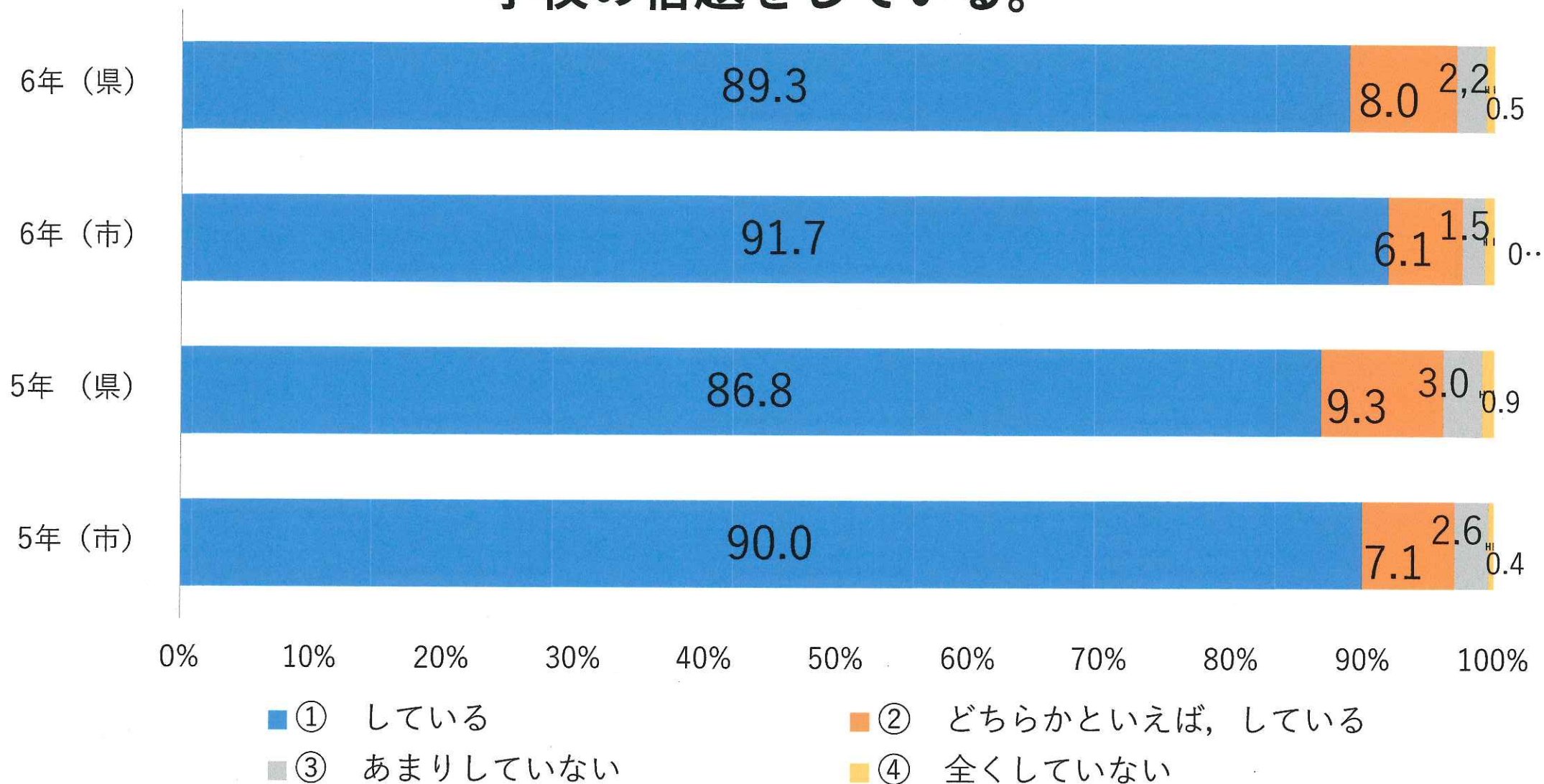
学校の授業時間以外に、普段(月～金)1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。



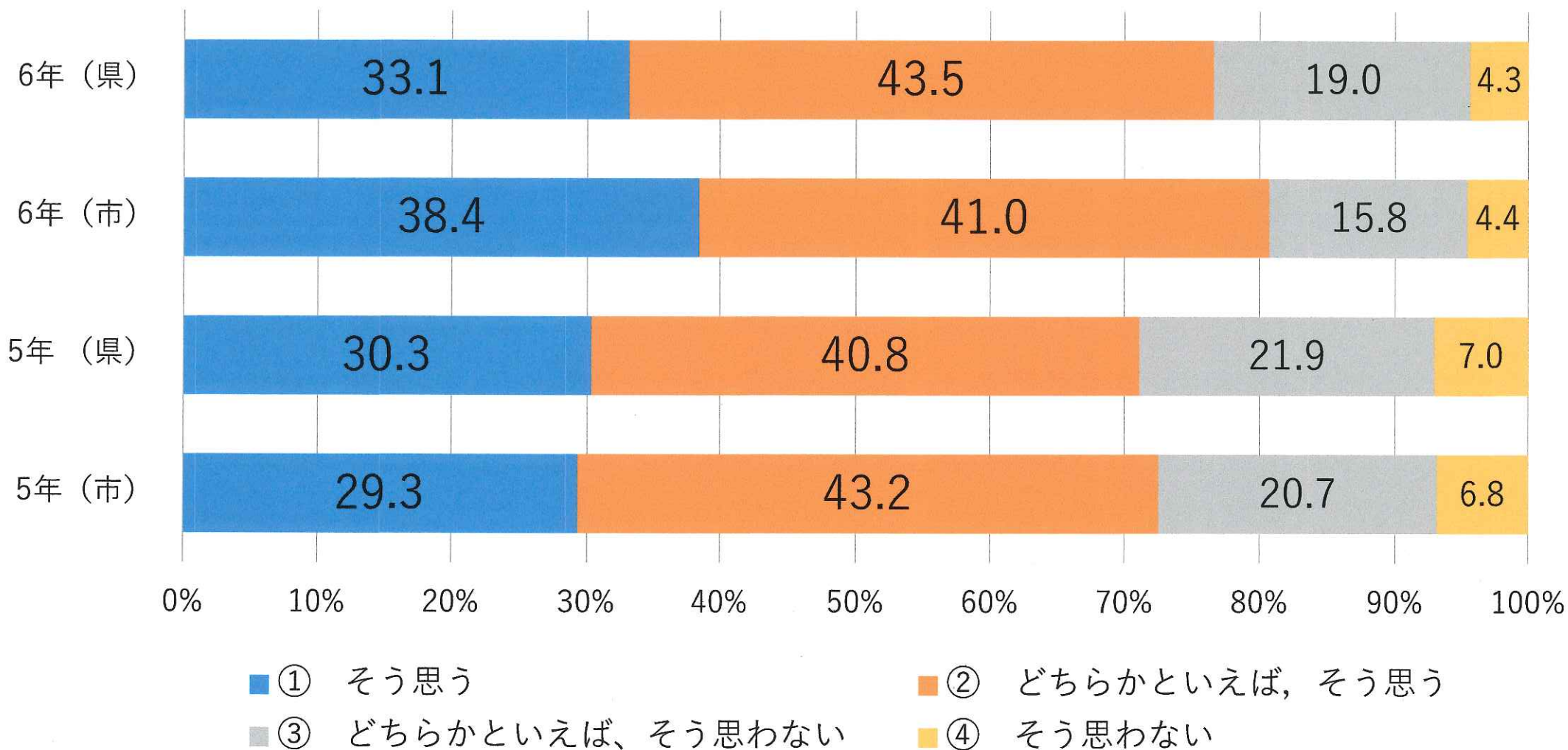
自分で計画を立てて勉強をしている



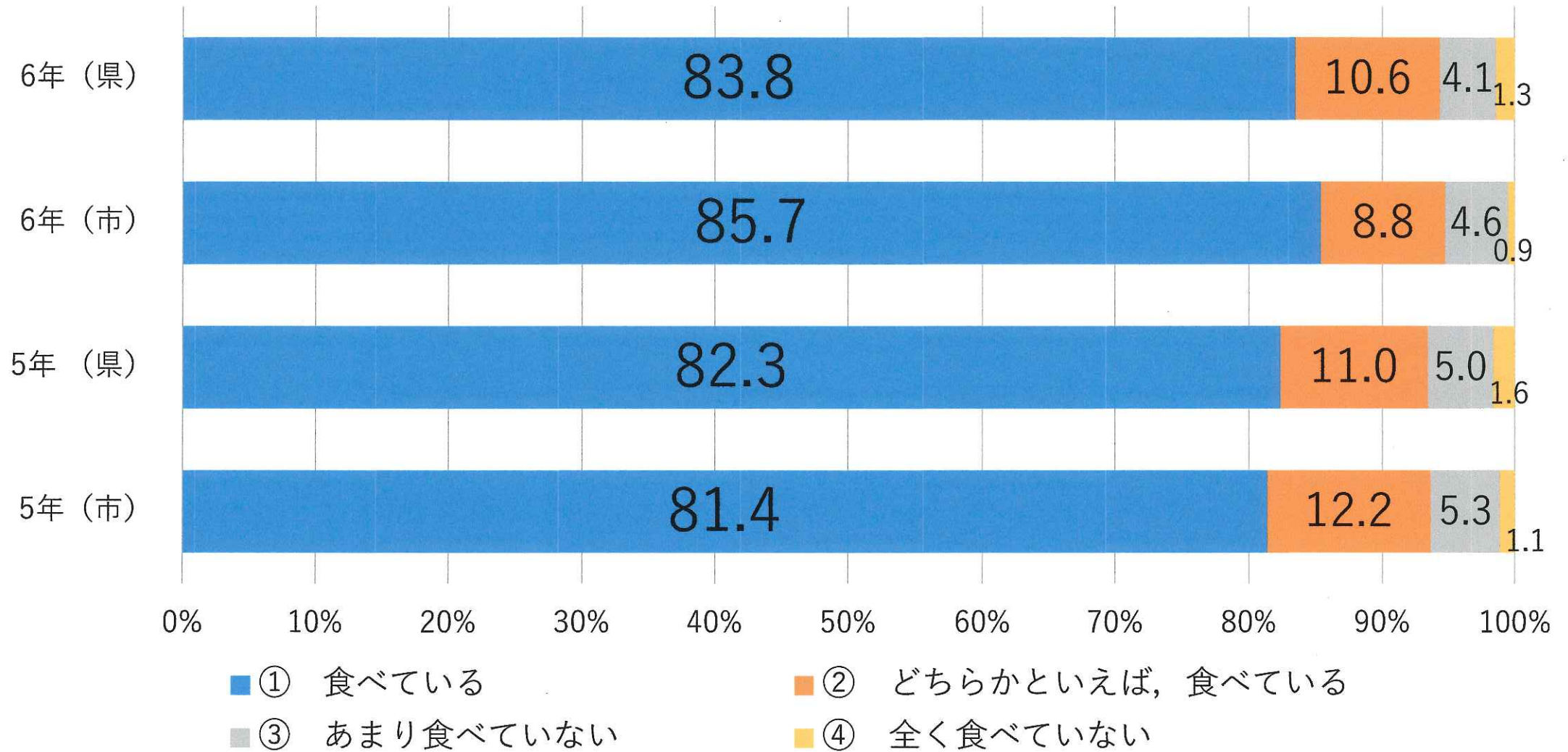
学校の宿題をしている。



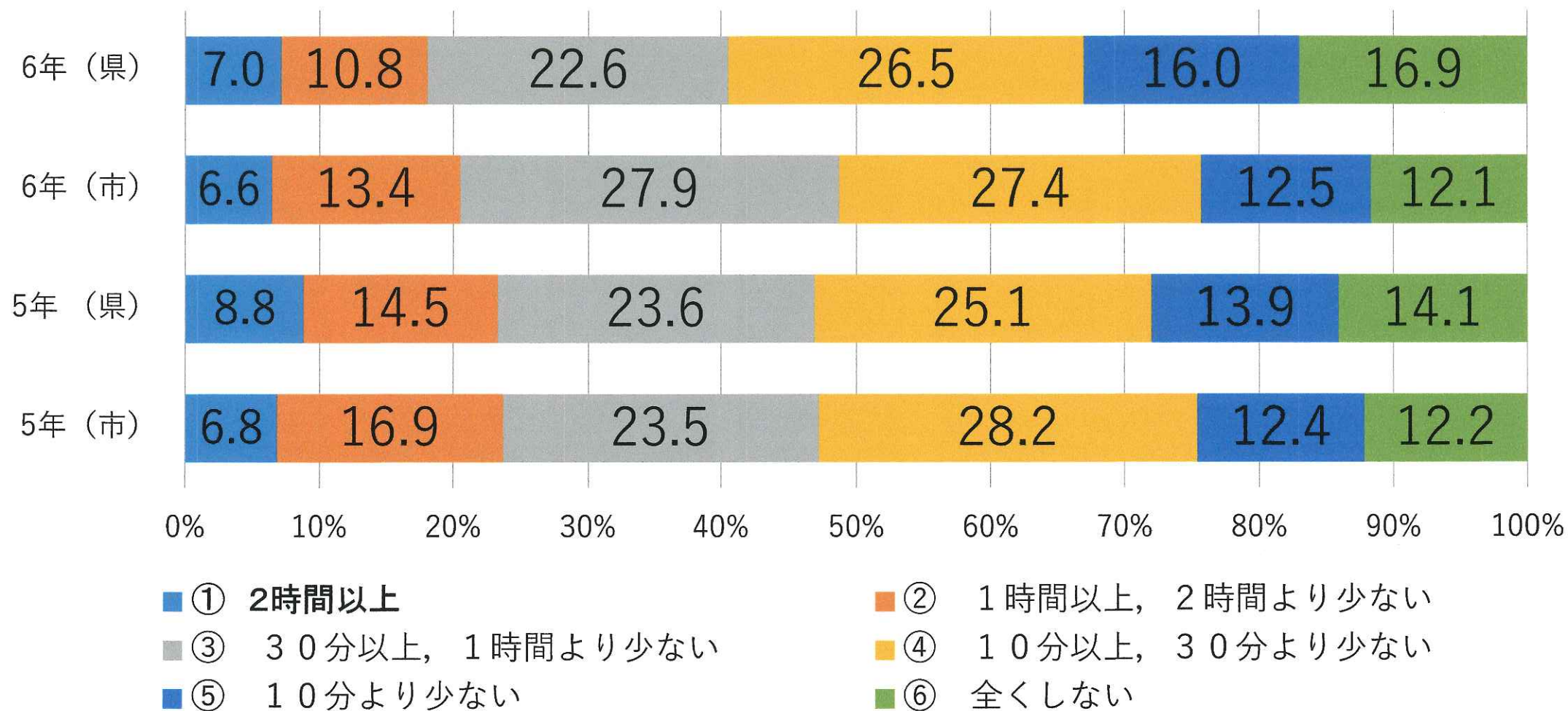
学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う



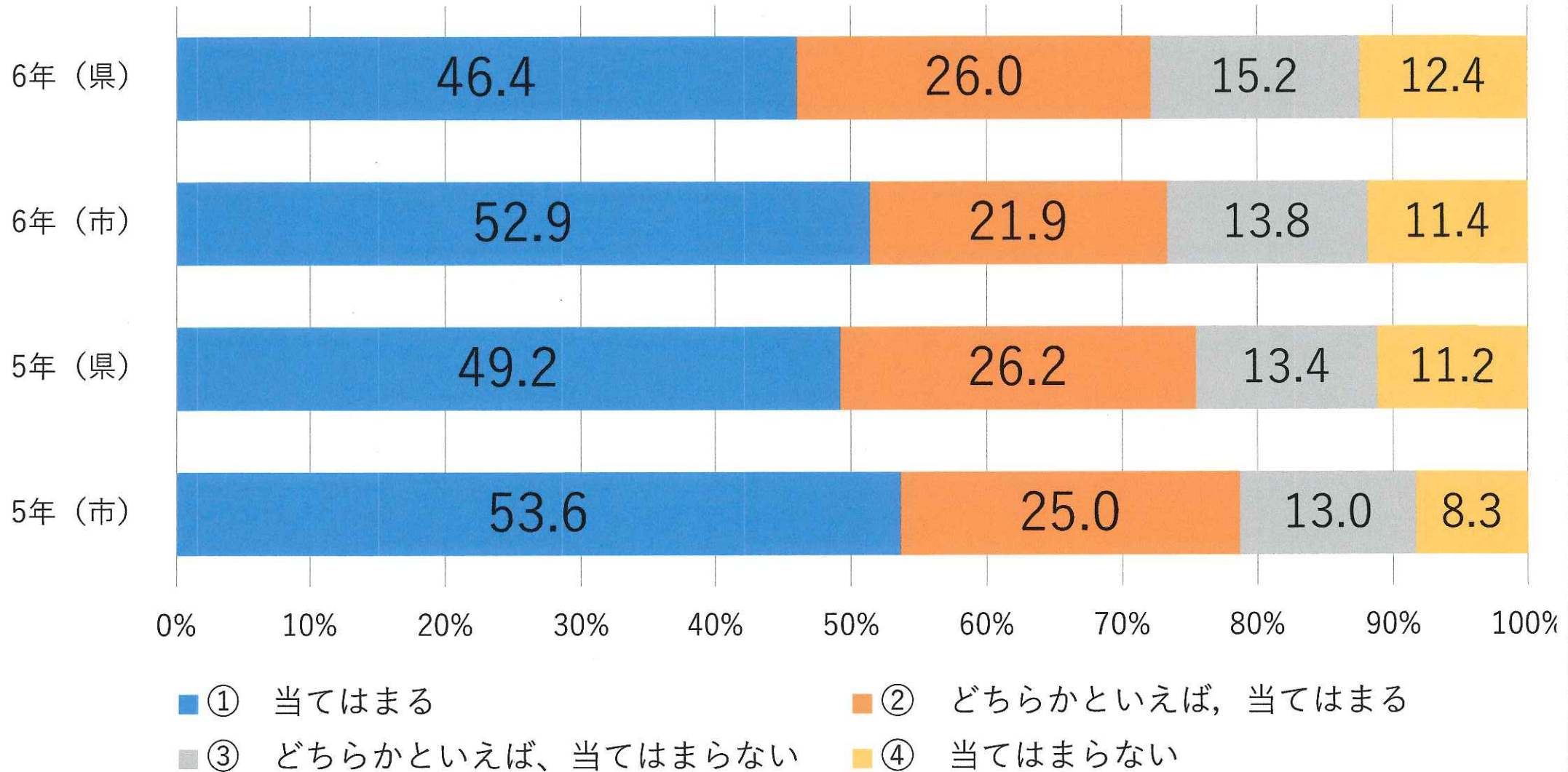
朝食を毎日食べている



学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。）



今住んでいる地域の行事に参加している



(2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態（小学校）

- 6年生の、国語A、算数B、理科の調査において、県・全国と同等、あるいはわずかに上回る結果であった。
- 国語B、算数Aは、全国を0.01ポイント下回るが、県と同等であった。
- 正答数分布グラフからは、全調査とも県や全国の数値とほぼ変わらないが、若干、高得点層が少ない。
- 意識調査の、「学校の宿題をしている」に関しては、ほとんどの児童が「している」「どちらかといえばしている」と答え、県平均を上回っている。
- 意識調査の、「今住んでいる地域の行事に参加している」に関しては、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童が県平均を上回っている。

2 改善に向けた具体的な取組

【以下の内容について各学校に通知し、共通の取組としていく】

○学習状況調査結果を受けて

- 正答数分布グラフに見られるように、低得点層の底上げと高得点層の拡大が課題である。調査対象学年だけでなく、低学年からの学力向上について研修を行い、実践していく。
- 誤答分析を行い課題を見つけ、検証していく取組を実践する。
- 問題をしっかり理解した上で取り組めるよう、普段の授業時間から問題を整理する力の育成を図る。
- ICT機器の有効活用の在り方をさらに研修し、ICT機器を積極的に活用した授業の実践につなげる。
- 武雄市では、県や文科省からの指定や委託を受けて、研究、実践に取り組んでいる。実践校や推進校での取組を市内の小中学校に広げるために、公開授業等への積極的な参加を奨励する。

○意識調査の結果を受けて

- 6年生の意識調査の「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の結果より、「できている」と回答した児童の平均正答率が高くなっている。家庭での過ごし方を見直すために、就寝時刻，起床時刻，学習開始時刻の固定化を図る。
- 約6割の児童が「家で、学校の授業の予習・復習をしている」「どちらかといえばしている」と回答しており、平均正答率も高い。一方、残りの約4割の児童には、スマイル学習を活用しながら予習・復習の奨励や主体的に学ぶ意欲を高めていく必要がある。

実態分析と改善に向けた 具体的な取組

武雄市 中学校（5校）全体

平成30年度 全国学力・学習状況調査、佐賀県学習状況調査
結果を受けた取組について 【武雄市 中学校】

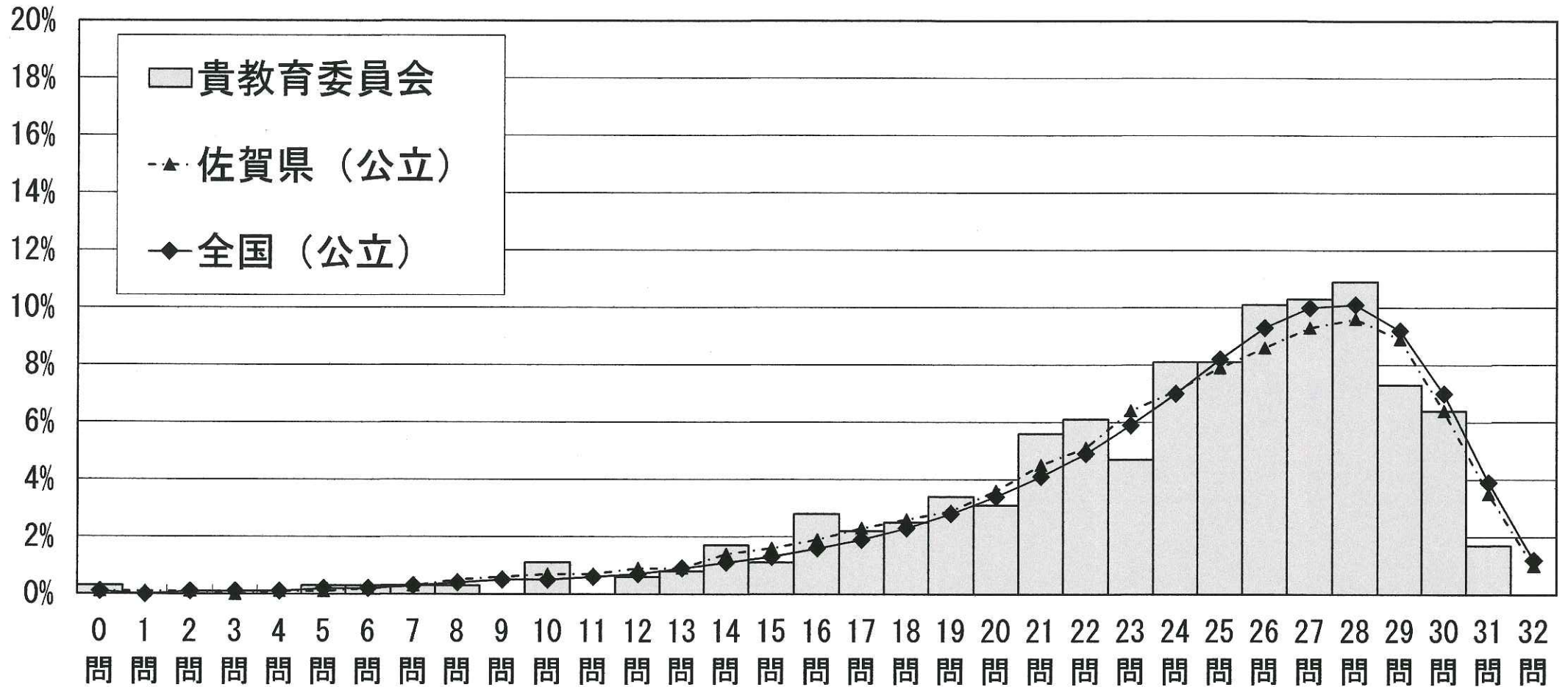
1 生徒の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

	国 語				数 学				理 科
	1 年時	2 年時	3 年時		1 年時	2 年時	3 年時		3 年時
			A	B			A	B	
H30入学 現1年	68.1				64.7				
	(0.98)				(0.96)				
H29入学 現2年	67.2	57.2			65.3	52.5			
	(0.98)	(0.97)			(0.95)	(0.98)			
H28入学 現3年	66.5	57.7	75.0	58.0	67.3	49.8	62.0	41.0	61.0
	(0.97)	(0.99)	(1.00)	(0.98)	(0.92)	(0.92)	(0.97)	(0.93)	(0.95)
H30正答率の全国比			(0.99)	(0.95)			(0.94)	(0.87)	(0.92)

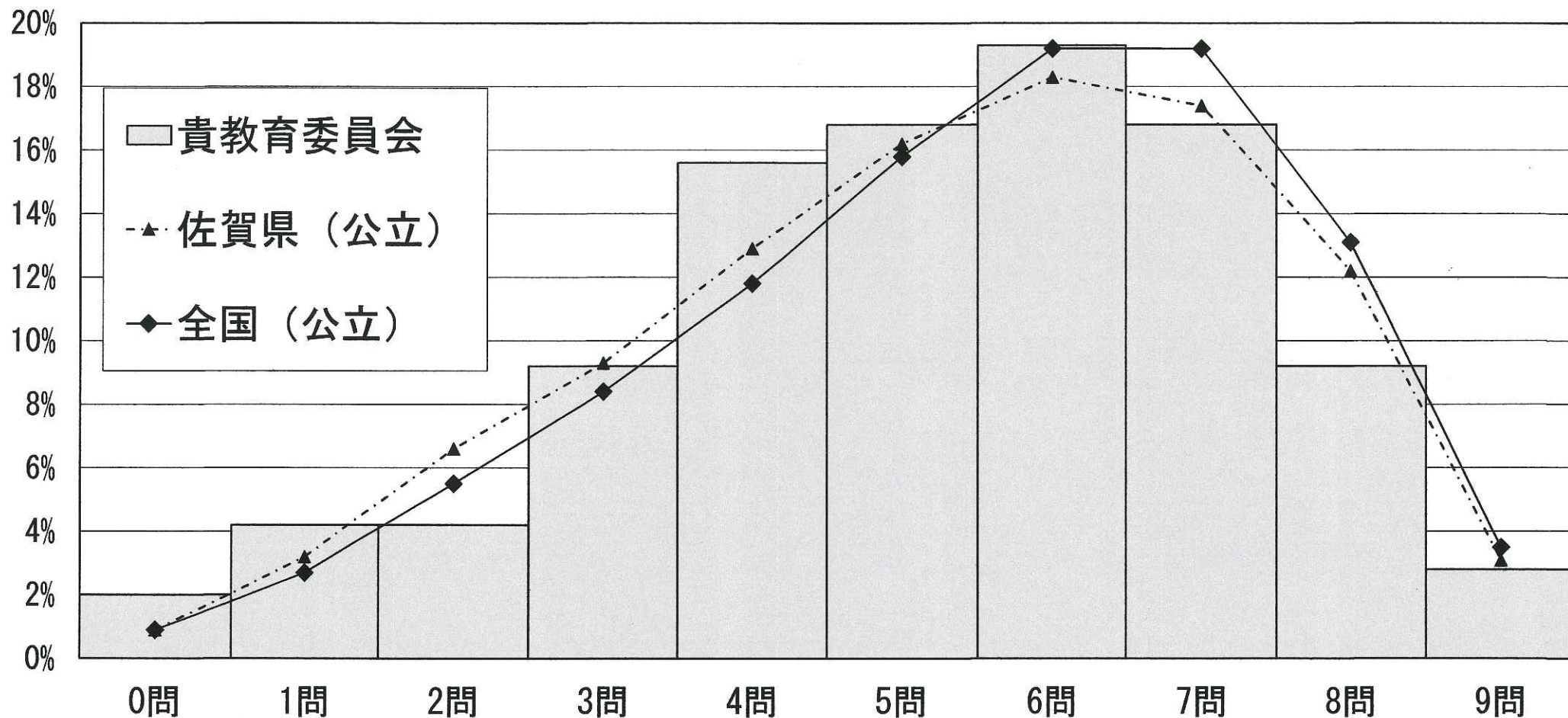
- ◎ 1・2年時は佐賀県学習状況調査、3年時は全国学習状況調査の推移。
- ◎ 上段は平均正答率(%)、下段()は、県平均を1としての比較。
- ◎ 「H30正答率の全国比」は、全国平均を1としての比較。

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）（中3国語A）



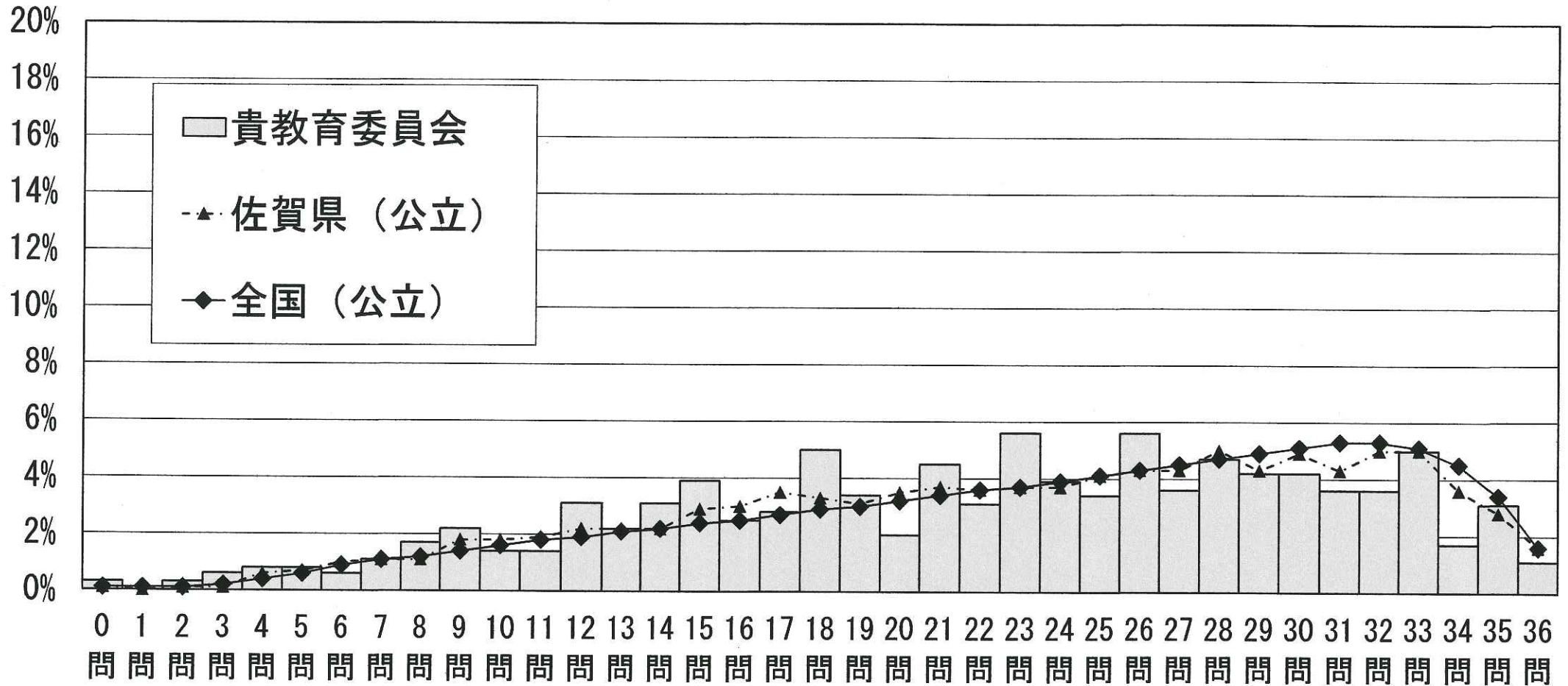
文部科学省 平成30年度全国学力・学習状況調査（中学校）結果より

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）（中3国語B）



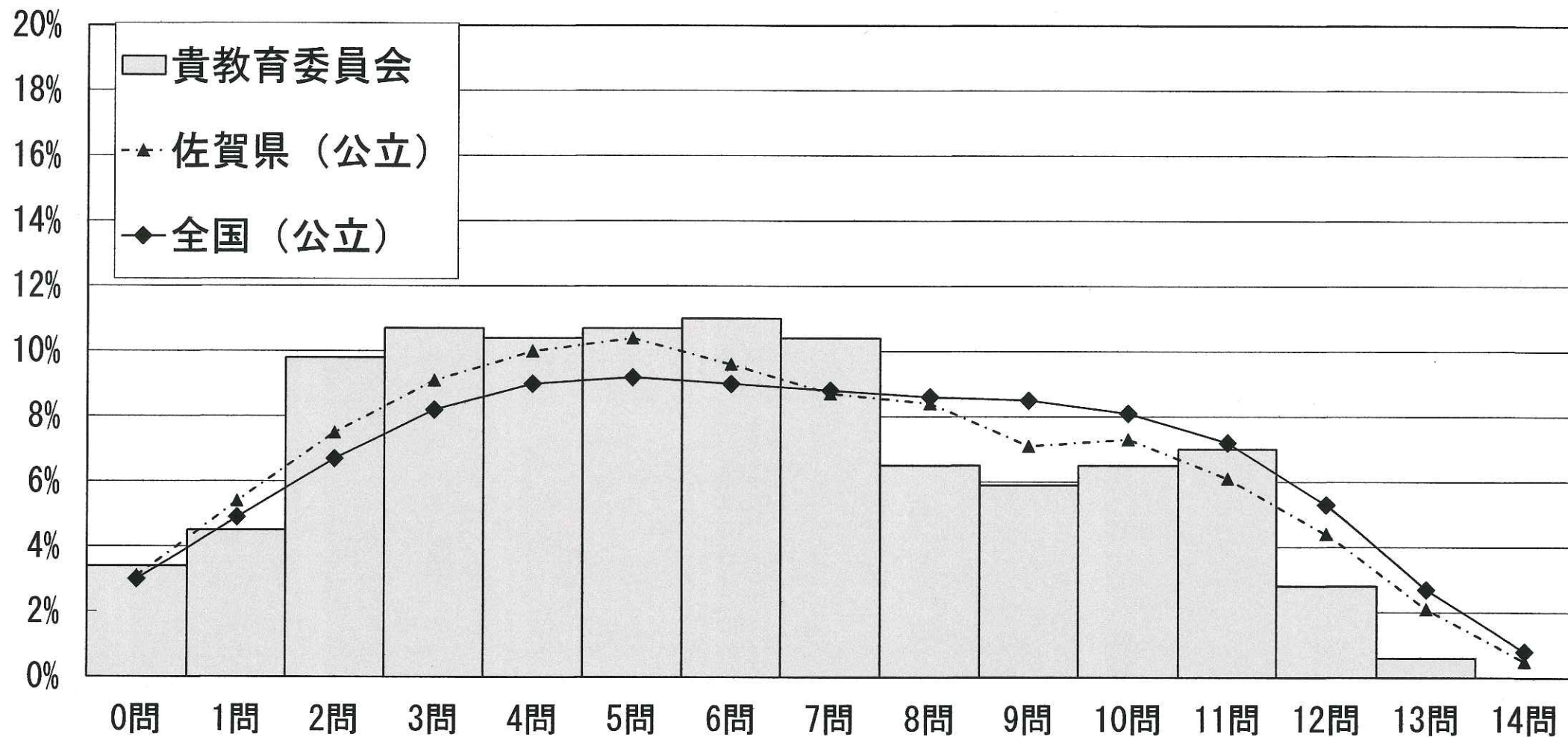
文部科学省 平成30年度全国学力・学習状況調査（中学校）結果より

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）（中3数学A）



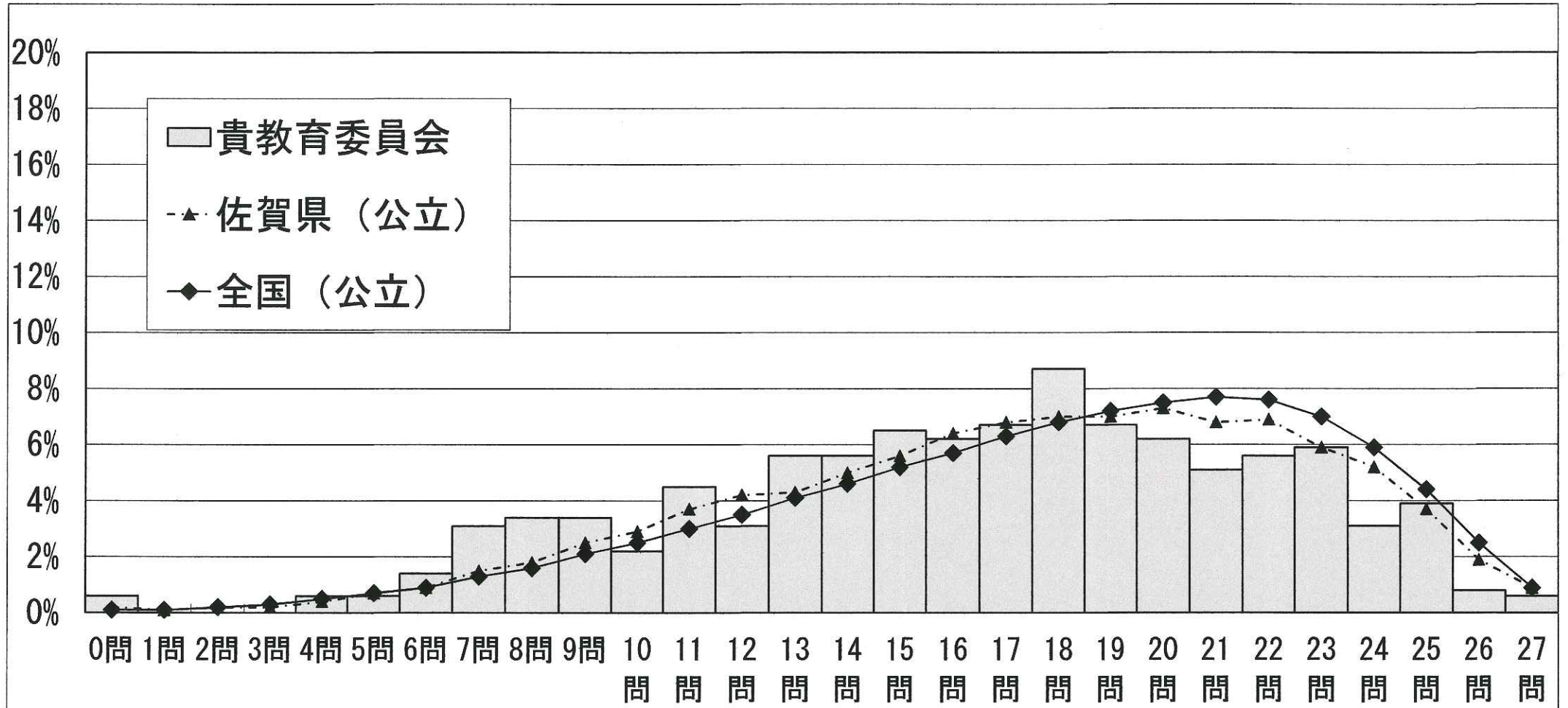
文部科学省 平成30年度全国学力・学習状況調査（中学校）結果より

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）（中3数学B）



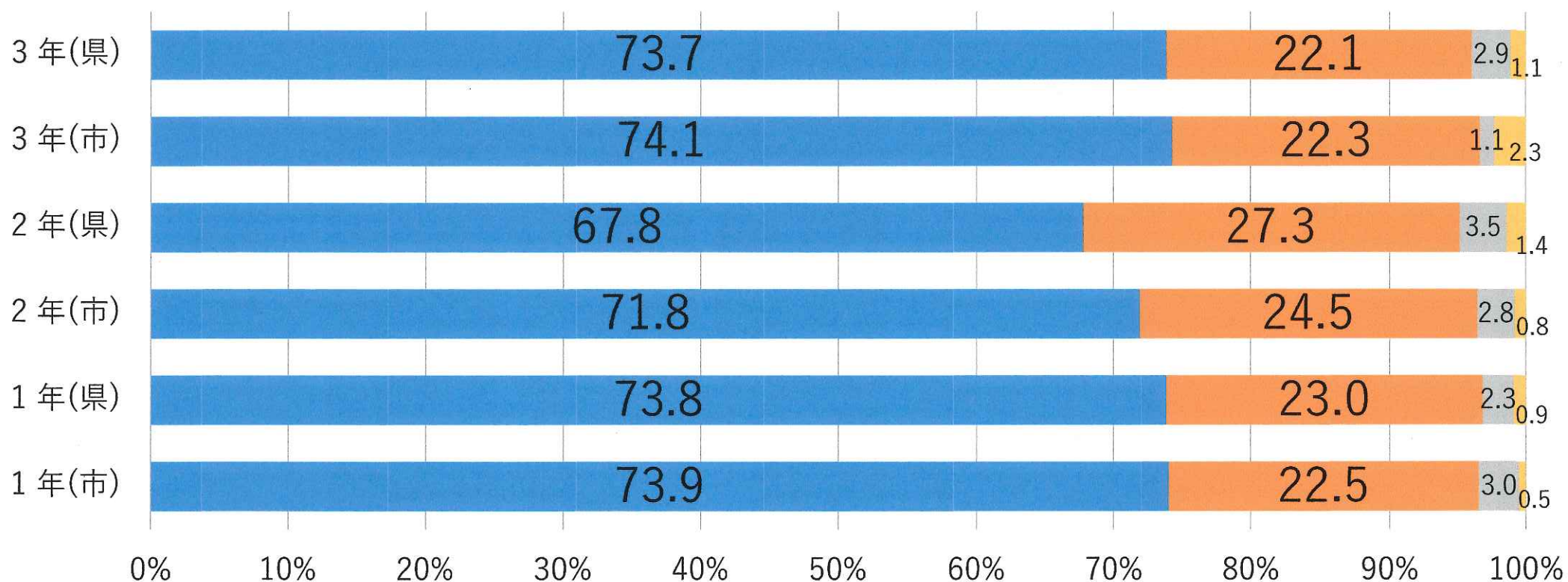
文部科学省 平成30年度全国学力・学習状況調査（中学校）結果より

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）（中3理科）



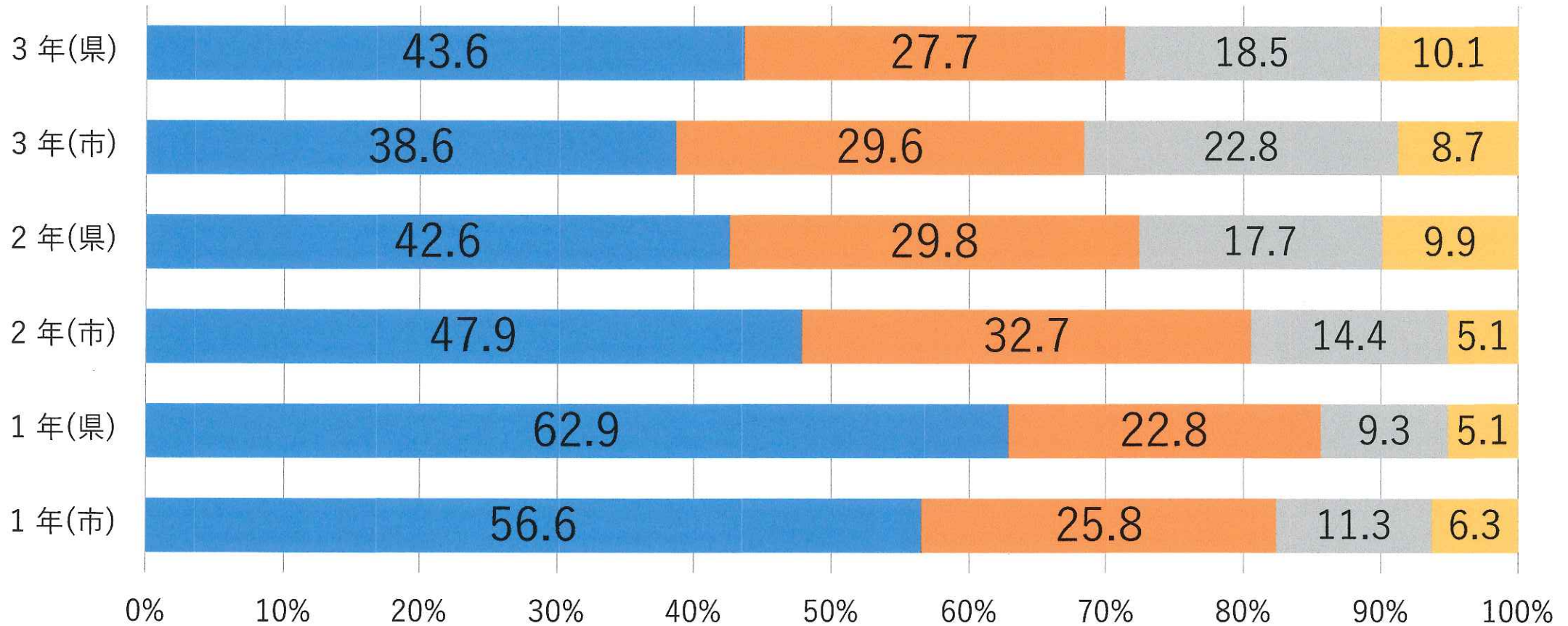
文部科学省 平成30年度全国学力・学習状況調査（中学校）結果より

人の役に立つ人間になりたいと思う。



- ① そう思う
- ② どちらかといえば、そう思う
- ③ どちらかといえば、そう思わない
- ④ そう思わない

将来の夢や目標を持っている。



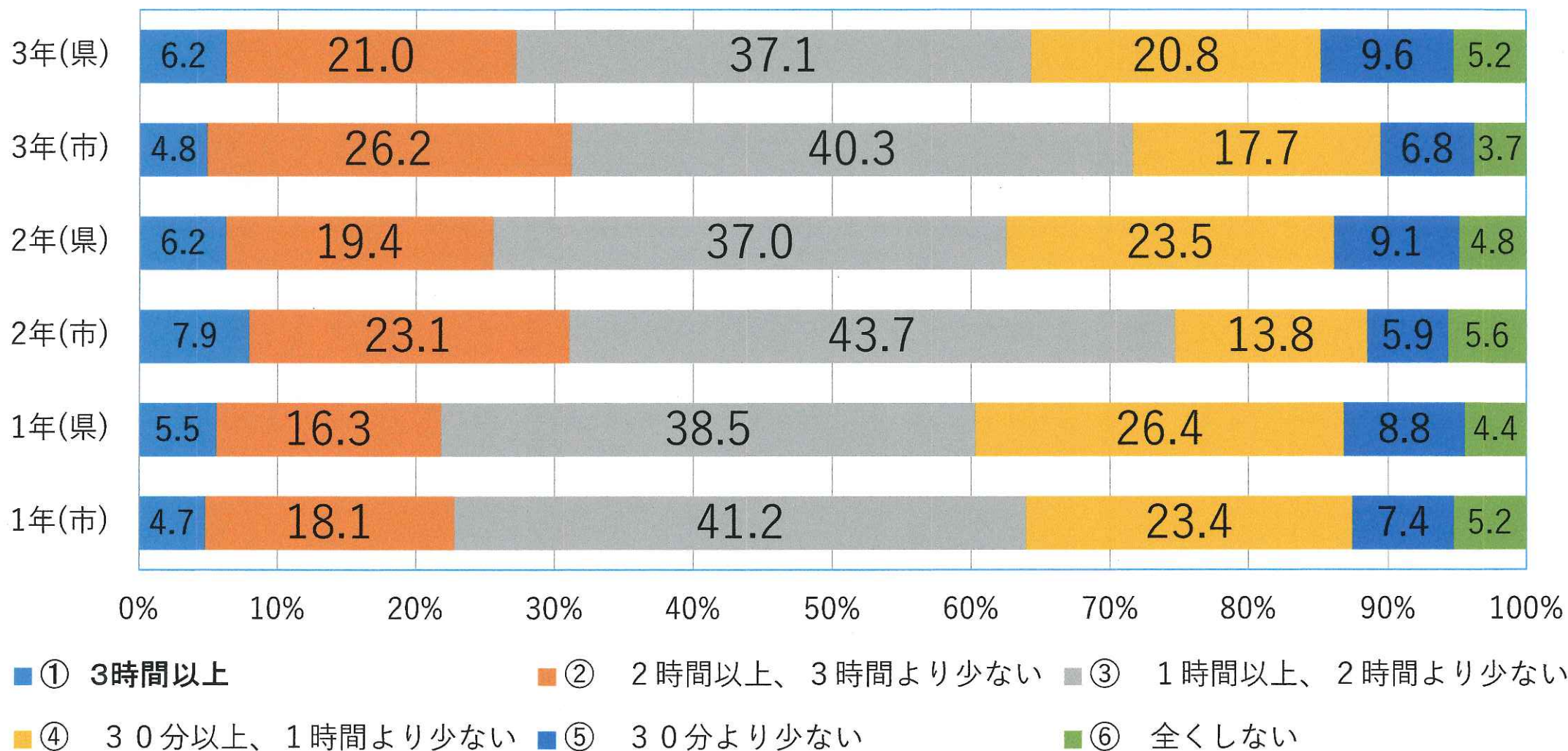
■ ① 当てはまる

■ ② どちらかといえば、当てはまる

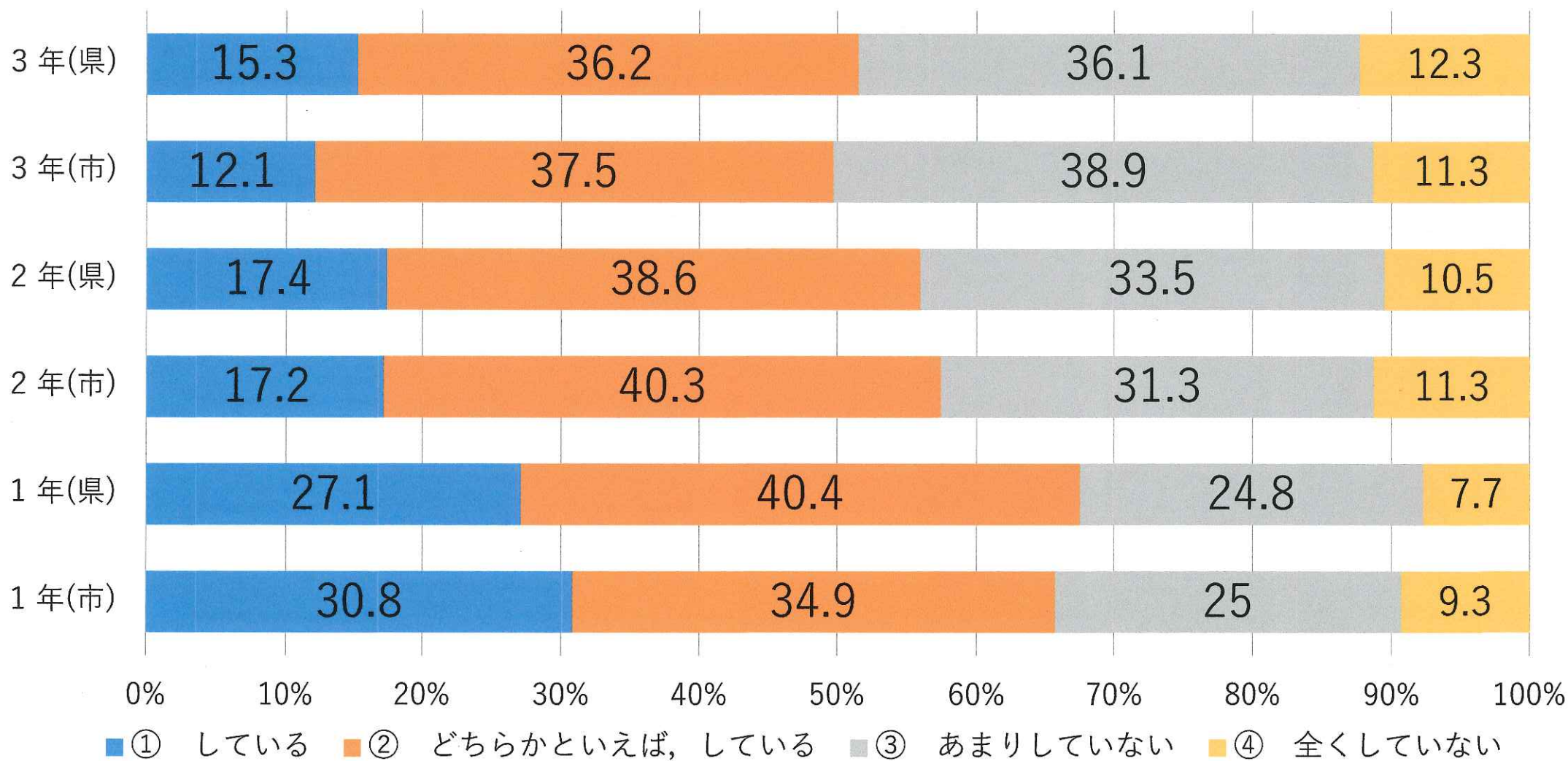
■ ③ どちらかといえば、当てはまらない

■ ④ 当てはまらない

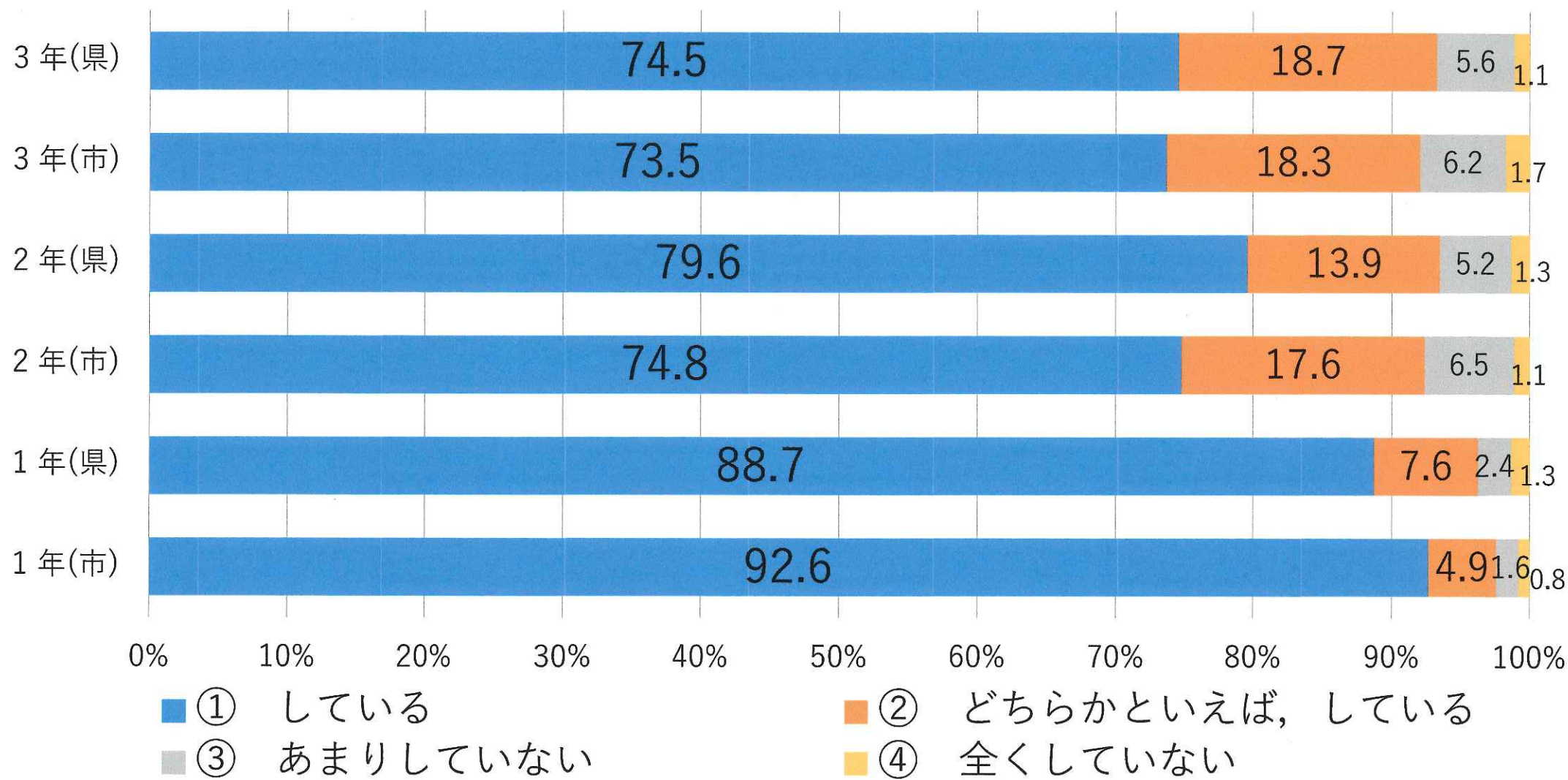
学校の授業以外に、普段（月～金）1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。
 （学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。）



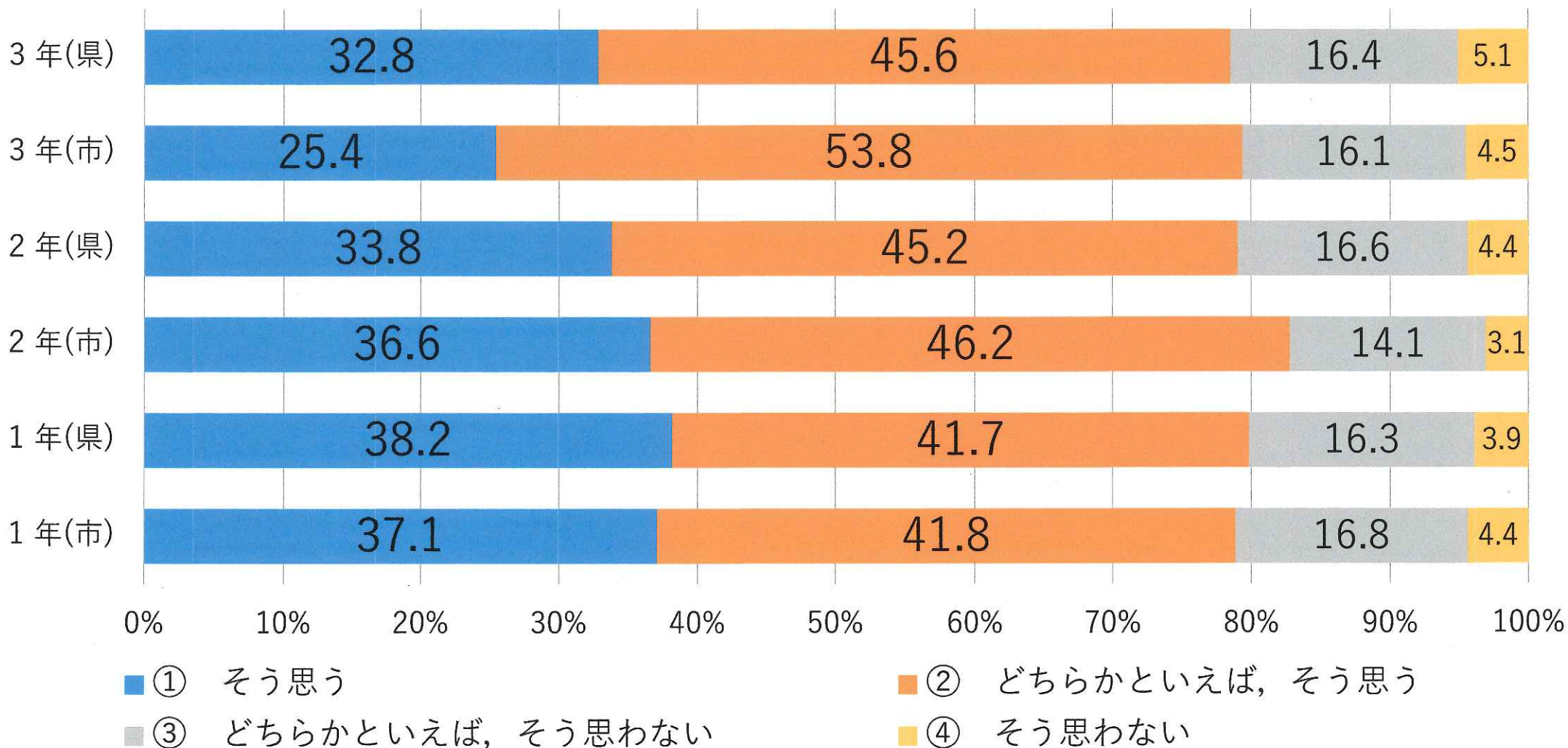
自分で計画を立てて勉強をしている。



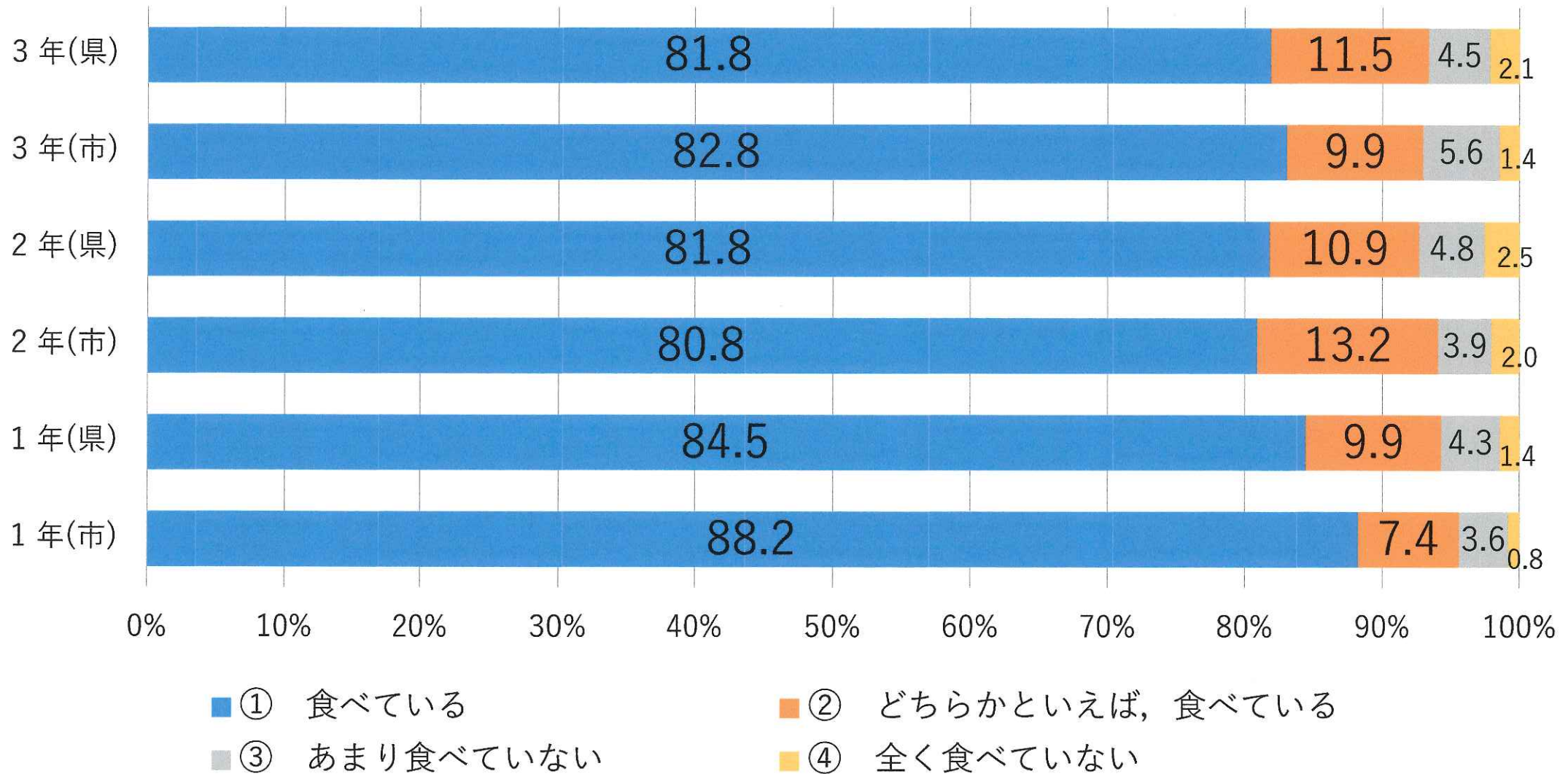
学校の宿題をしている。



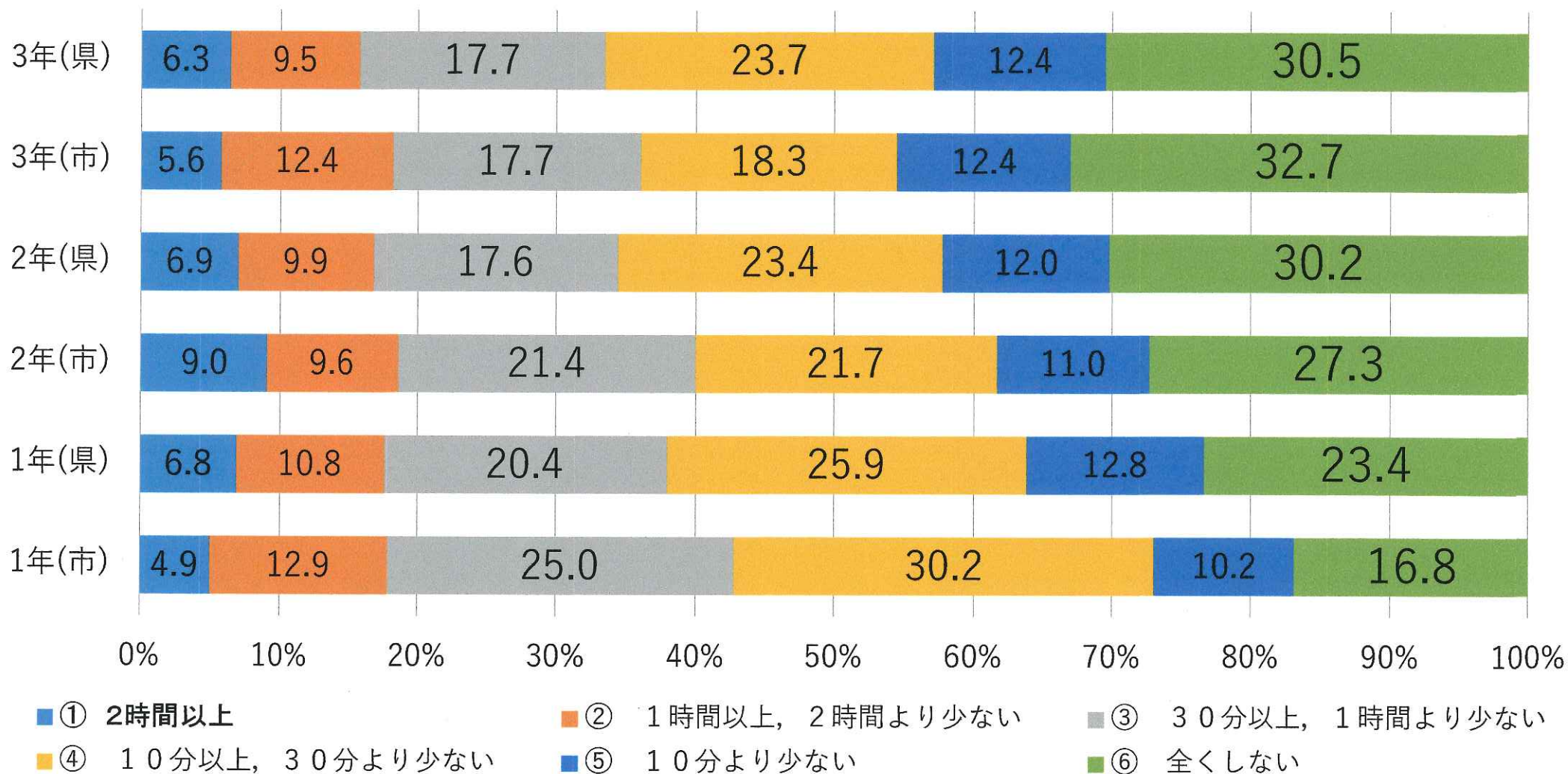
生徒の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたり
することができると思う。



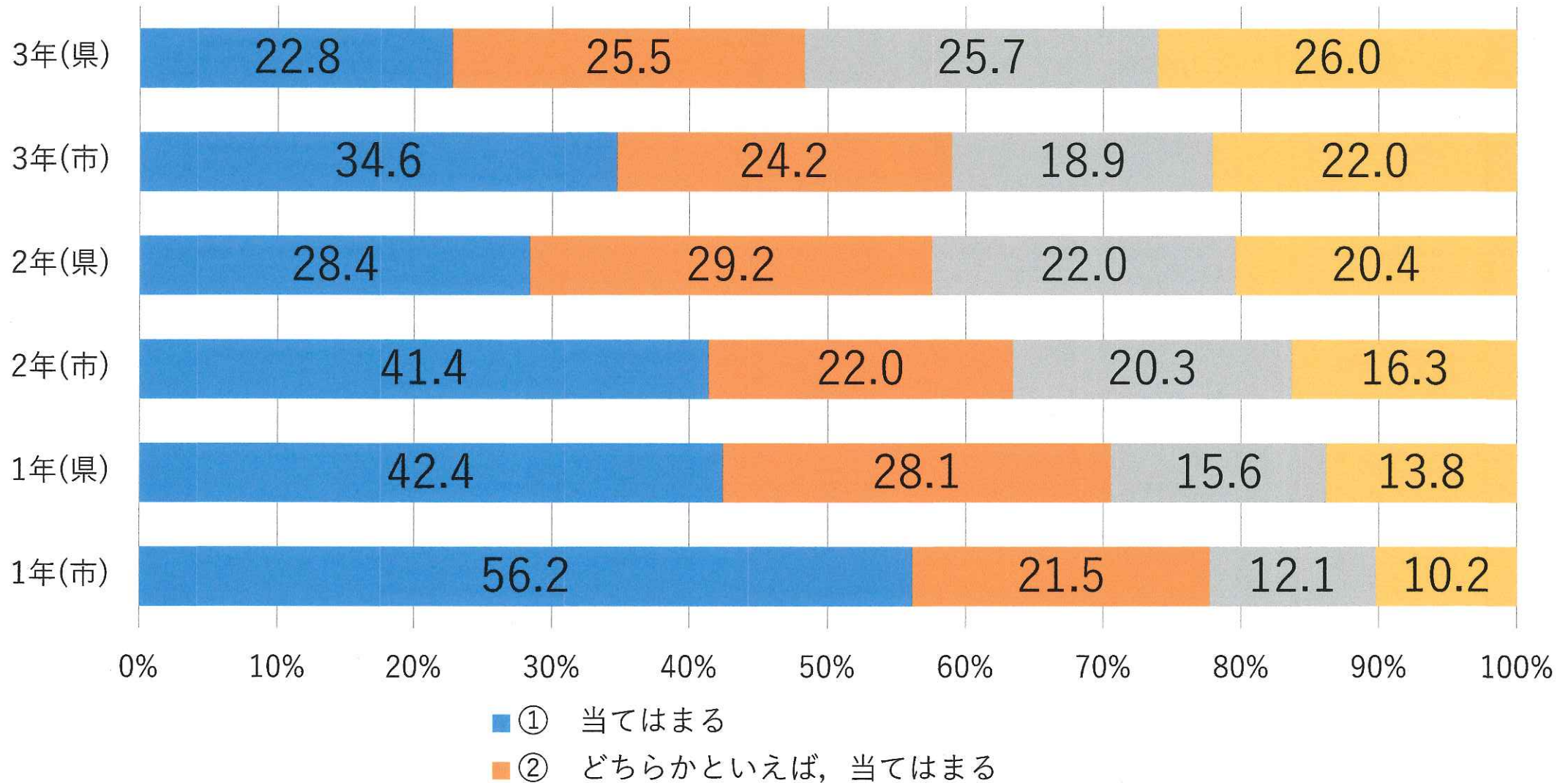
朝食を毎日食べている



学校の授業時間以外に、普段（月～金），1日当たりどれくらいの時間，読書を行いますか。（教科書や参考書，漫画や雑誌は除きます。）



今住んでいる地域の行事に参加している



(2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態（中学校）

- 3年生の、国語Aの調査においては、県と同等であるが、その他の国語B、数学A、B、理科においては、県・全国平均を下回っている。
- 正答数分布グラフからは、全調査とも高得点層が県や全国の数値より少なく、低得点層から中間層までが多い。特に「活用」に関するB問題で低得点層が多い。
- 意識調査の、「普段（月～金）、1日当たりの家庭学習時間」に関しては、全学年とも1時間以上取り組んでいる生徒が、県平均を大きく上回っている。一方、「30分より少ない」「全くしない」生徒が10%以上みられる。
- 意識調査の、「今住んでいる地域の行事に参加している」に関しては、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童が県平均を大きく上回っていて、地域行事に積極的に参加している。

2 改善に向けた具体的な取組

【以下の内容について各学校に通知し、共通の取組としていく】

○学習状況調査結果を受けて

- 基礎学力定着のために、生徒の実態に合わせた補充学習を実施したり、自分のペースにあった「スタディサプリ」を活用したりして学力向上を図る。
- 誤答分析を行い課題を見つけ、検証していく取組を実践する。
- 新学習指導要領がめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、全教科で研究授業を実施し、指導方法の改善や職員の指導力向上に努める。
- ICT機器の有効活用の在り方をさらに研修し、ICT機器を積極的に活用した授業の実践につなげる。
- 武雄市では、県や文科省からの指定や委託を受けて、研究、実践に取り組んでいる。実践校や推進校での取組を市内の小中学校に広げるために、公開授業等への積極的な参加を奨励する。

○意識調査の結果を受けて

- 3年生の意識調査の「1日の家庭学習時間」の結果より、家庭学習時間とゲームやインターネット、スマートフォン等の関係が考えられるので、家庭での時間の使い方について家庭と連携を取りながら、規則正しい生活習慣・学習習慣の定着をめざす。
- 各学級で支持的風土の醸成を図り、「生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりする活動」を多く取り入れた授業を設定する。
- 読書の大切さについて理解させ、一人一人に目標を設定させたり、本に親しめるような取組を考えたりして読書活動を奨励していく。